

気候変動適応情報プラットフォーム

CLIMATE CHANGE ADAPTATION PLATFORM

A-PLAT



ADAPTATION FOR FUTURE

<http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/index.html>




気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT）とは

2015年11月に閣議決定された政府の適応計画に従い、その基本戦略である「気候リスク情報等の共有と提供を通じた理解と協力の促進」を進める中核的な取組として、2016年8月に関係府省庁が連携して「気候変動適応情報プラットフォーム」を設置（事務局：国立環境研究所）しました。

地方公共団体、事業者、国民などの各主体の適応の取組を支える情報基盤として、利用者ニーズに応じた情報の提供、適応の行動を支援するツールの開発・提供、優良事例の収集・整理・提供などを行います。



「気候変動適応情報プラットフォーム」 ポータルサイトの主なコンテンツ

 **全国・都道府県情報** ～ 適応策を検討する上で役立つデータを都道府県別に掲載～



都道府県名をクリック

観測された気候変化、将来気候、気候変動影響、複数のモデルによる将来影響予測など最新のデータを参照することができます。

<http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/index.html>



政府の取組

- * 政府の適応計画
- * 研究調査結果の紹介



地方公共団体の取組

- * 適応計画策定ガイドライン
- * 気候変動影響関連文献一覧
- * 地方公共団体会員専用ページ

適応計画の策定・実施に役立つ情報をお届けします。



事業者の取組

「気候リスク管理」と「適応ビジネス」に取り組む事業者の取組事例を紹介します。



個人の取組

変化する気候に適応するための知恵都工夫を紹介します。

気候変動に適応して快適な生活を送りましょう!!



CLIMATE CHANGE ADAPTATION PLATFORM 全国・都道府県情報

都道府県別の気候と気候変動による影響の予測



クリック!!

福岡県

気候、影響、適応に関する情報をご覧になれます。
収録されているグラフや地図画像を一括ダウンロードしていただくこともできます。

データダウンロード

気候・影響の画像
ダウンロードはこちら



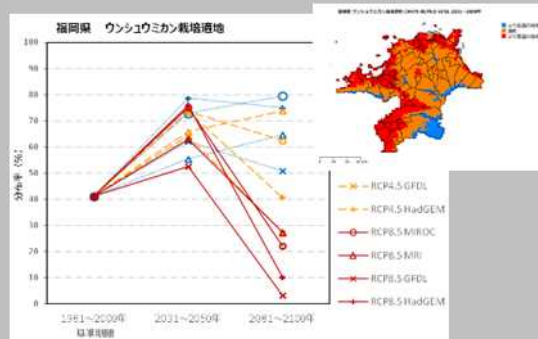
気候

過去&将来予測される年平均気温・降水量

年平均気温

年降水量

ウンシュウミカン栽培適地将来変化予測



影響

農業、森林・林業、水産業

コメ収量 (収量重視)
コメ収量 (品質重視)
ウンシュウミカン栽培適地
タンカン作付適地

自然生態系

アカガシ潜在生育域
シラビソ潜在生育域
ハイマツ潜在生育域
ブナ潜在生育域

自然災害・沿岸域

斜面崩壊発生確率

健康

熱ストレス超過死亡者数
熱中症検送者数
ヒトスジシマカ生息域

水環境・水資源

クロロフィルa (年最高)
クロロフィルa (年平均)





CLIMATE CHANGE ADAPTATION PLATFORM

気候変動の影響に適応しよう！ 地方公共団体の取組

地方公共団体における 気候変動適応計画策定ガイドライン

気候変動の影響に適応しよう！
LET'S ADAPT

HOME > 気候変動の影響に適応しよう！ > 地方公共団体の方へ

地方公共団体の方へ

地域性を考慮して「適応」を検討していく必要があります

気候変動の影響に適応しよう！の5つの基本戦略のひとつが「地域での適応の推進」です。

地域特性によって、気候変動から受ける影響や脆弱性は大きく異なり、対応を要する分野やその優先順位も異なります。そのため、「適応計画」は、地域ごとにその気候変動について主体的に検討し、具体的な取り組みを取り組んでいくことが重要であるとの考えが示されています。

また、地域レベルで、気候変動影響評価の実施や、適応計画の策定及びその実施が、住民生活と密接な関わり「地方公共団体」によってなされるよう促進することを目的としています。

「地方公共団体における気候変動適応計画策定ガイドライン」

そこで、地方公共団体の適応を推進する担当者の参考となるよう、気候変動影響評価や適応計画の策定の具体的な手順や課題・留意すべき点を示すことを目的として作られたものが「地方公共団体における気候変動適応計画策定ガイドライン」です。

地方公共団体における気候変動適応計画策定ガイドライン (PDF 5.2MB)

地方公共団体の適応計画

徳島県気候変動適応戦略

平成30年10月
徳島県

目次

1. 序言	1
2. 気候変動の現状と影響	2
3. 適応の考え方	3
4. 適応計画の策定	4
5. 適応計画の実施	5
6. 適応計画の見直し	6
7. 関係機関との連携	7
8. 附則	8

例：徳島県気候変動適応戦略

地方公共団体の会員専用ページ

地方公共団体の会員専用ページ

HOME > 適応計画策定ツール

※※※ このページは、地方公共団体の適応窓口担当者様のみ、すでにIDとパスワードをお持ちの方専用ページです ※※※

情報交換の広場 適応支援報告書 適応計画策定ツール

適応計画策定ツール

地方公共団体の方へ向けに、適応計画策定ツールとしてお使いいただけるフォーマットなどをご用意いたしました。ガイドラインと合わせてぜひご利用ください。

※追加資料も近日公開予定

情報交換の広場 適応支援報告書 適応計画策定ツール

フォーマット

事例・表番号	内容
① 表2.2-2	福島県 本編
② 事例2.3-2	埼玉県 本編
③ 事例2.3-3	埼玉県 資料編

適応支援報告書

平成27年度地方公共団体における気候変動影響評価・適応計画策定等支援事業報告書（11団体）

県	本編	資料編
福島県	● H27福島県適応支援報告書	
埼玉県	● H27埼玉県適応支援報告書	● 資料 現在の影響に関する情報のとりまとめ
神奈川県	● H27神奈川県適応支援報告書	

情報交換の広場 適応支援報告書 適応計画策定ツール

情報交換の広場

適応策を進めるうえで、疑問に思ったこと・これは！と思ったことを共有するページです。情報発信等にもご活用ください。

ご意見はこちら
皆様からの情報やご意見を
お察ししております。

Q. (例) 環境部に着任し適応策を担当することになりました。前職は環境とは関係のない分野だったので、何もわからない状態です。何から始めればいいでしょうか？

関東地区 匿名県 環境部所属

A. (例) 気候変動適応情報プラットフォーム運営事務局からの回答

まずはこのプラットフォームで気候変動の影響とその対策（適応策）について知識を得てみるのはいかがでしょうか？次の順で見てくださいと、わかりやすいかと思えます。

- 気候変動の影響への適応とは？ 気候変動が引き起こす影響をまとめて紹介。適応事例もあり。
- 適応計画 国の適応計画を全部読む前に、概要と内容を一読するとわかりやすい。
- 公開資料のダウンロード 気候変動に関する資料をダウンロード。



CLIMATE CHANGE ADAPTATION PLATFORM 気候変動の影響に適応しよう！ 事業者の取組

気候リスク管理事例

気候リスク管理については、海外で先行した取組が見られます。英国では、2008年に施行された英国気候変動法で、公共施設の運営・管理を行う事業者を対象に、自社の気候リスク管理について報告することを義務付けています。

適応報告指令（Adaptation Reporting Power）と呼ばれる取組で、2009年以降、航空事業者や電力事業者、上下水道事業者等を含めた100社以上が、この取組の下で自社の気候変動のリスク評価を行い、それに基づいた適応策の検討をしています。

ここでは、英国の事業者の気候リスク管理に関する代表例を紹介し、今後、国内の事業者の気候リスク管理に関する取組も紹介していく予定です。



自然災害・沿岸域

ロンドン港防波堤
5x5の評価指標による気候変動影響のリスク評価の実施
自然災害・沿岸域
国民生活・都市生活
掲載日：平成28年11月29日

漁業設備
気候変動影響のリスク評価（Sensing）と適応策の抽出（Responding）
農業・森林・林業・水産業
自然災害・沿岸域
掲載日：平成28年11月29日

健康

国民保険サービス
※この部分のコメント、厚積待ち
健康
掲載日：平成28年11月29日

A-PLAT

産業・経済活動

スコティッシュ・パワー エネルギーネットワーク
気候変動リスク評価結果に基づき、気温上昇・異常気象・洪水対策の検討・実施
農業・経済活動
掲載日：平成28年11月29日

E.ON UK Generation
気候変動の将来予測結果を活用した重大な気候変動リスクの特定
農業・経済活動
掲載日：平成28年11月29日

ナショナル・グリッド・ガス
※この部分のコメント、厚積待ち
農業・経済活動
掲載日：平成28年11月29日

A-PLAT

事業者の気候リスク管理・適応ビジネスの取組事例を共有 （取組事例を随時募集）

適応ビジネス事例

ここでは、「気候変動の影響への適応計画」の主要7分野で適応ビジネスを展開する国内の事業者の取組を紹介します。

※各分野、企業・団体の50音順で掲載しています。敬称略。



農業・森林・林業、水産業

国際航空株式会社
国際航空株式会社
気候変動に伴う異常気象に対するGIS技術を活用した監視支援
農業・森林・林業、水産業
掲載日：平成28年11月29日

FUJITSU
富士通株式会社
農業ICTクラウドサービス「食・農クラウドAkisai（秋彩）」
農業・森林・林業、水産業
掲載日：平成28年11月29日

自然災害・沿岸域

国際航空株式会社
国際航空株式会社
気候変動に伴う異常気象に起因する自然災害リスクに対する、立地診断サービスを通じた事業継続計画（BCP）への貢献
自然災害・沿岸域
掲載日：平成28年11月29日

国際航空株式会社
国際航空株式会社
気候変動に伴う異常気象に起因する土砂災害に対する、リアルタイム土砂災害予測システムの導入
自然災害・沿岸域
掲載日：平成28年11月29日

産業・経済活動

SOMPO
SOMPOホールディングスグループ
東南アジアにおける農事向け天候インデックス保険
農業・経済活動
掲載日：平成28年11月29日

東京海上日動
東京海上日動火災保険株式会社
天候デリバティブ・台風デリバティブ
※許諾確認中
農業・経済活動
掲載日：平成28年11月29日

国民生活・都市生活

Dexerials
デクセリアルズ株式会社
国内と屋外の暑熱環境を緩和し、災害時のガラス飛散を防止する「熱線再帰ウィンドフィルム」
国民生活・都市生活
掲載日：平成28年11月29日

MISAWA
ミサワホーム株式会社／株式会社ミサワホーム総合研究所
気候デザインを取り入れたスマートシティの開発
国民生活・都市生活
掲載日：平成28年11月29日



CLIMATE CHANGE ADAPTATION PLATFORM

気候変動の影響に適応しよう！

個人の取組

適応しよう！ 気候変動

私たちの生活にも気候変動による様々な影響がみられます。昔と比べて、皆さんの周りではどんな変化がありますか？

- セミの鳴く時期がいつもと違う気がする・・・
- 熱中症に関するニュースをよく見聞きする・・・
- デング熱など、蚊に関する病気が他人ごとではないと思える・・・
- 豪雨や濁水など、異常気象が増えた気がする・・・



身近な影響に適応していくには、まず、私たちの生活がどんなふうになるかを想像してみましょう。

- 今より夏の暑さが厳しくなったら？
- 今より豪雨が頻繁になったら？

地域によって気候の特徴は異なるため、適応する方法は様々です。住んでいる環境に合わせて賢く適応しましょう！



住んでる環境に合わせて賢く適応しましょう。

気候変動への適応策に関するウェブサイトや動画のリンクを紹介

おすすめ動画・WEBサイト

水環境・水資源



適応しよう！ 水不足に備えて普段から節水を心がけましょう

将来、雨の降らない時期が長くなる可能性があります。大切な水の使い方を見直しませんか。

http://www.ktr.mlit.go.jp/rivmr/bousai/river_bousai/00000060.html

出典：国土交通省関東地方整備局

自然災害・沿岸域



適応しよう！ 洪水・土砂災害から身を守る～ハザードマップの利用

身近にある危険箇所を知って、いざという時の避難場所を知っておきましょう。

<http://disaportal.gsi.go.jp/>

出典：国土交通省

健康



適応しよう！ 熱中症予防～暑さの実況と予測情報の利用

お出かけ前に暑さ指数を確認して、熱中症にならないように気をつけましょう。

<http://www.wbqt.env.go.jp/>

出典：環境省



適応しよう！ 蚊にはご用心

怖い感染症への対策は、蚊に刺されない、蚊を増やさないことが重要です。

<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201509/1.html#anc03>

出典：内閣府大臣官邸政府広報室

国民生活・都市生活



適応しよう！ ヒートアイランド

打ち水は誰もが手軽に楽しめるヒートアイランド対策です。

<http://www.uchimizu.jp/>

出典：日本水フォーラム



CLIMATE CHANGE ADAPTATION PLATFORM

ツール

影響評価に関する文献

ここでは中央環境審議会「日本における気候変動による影響の評価に関する報告と今後の課題について（意見具申）」をはじめとする気候変動の影響評価に関する文献を分野ごとに紹介しています。



* こちらで紹介する文献は、本文閲覧の際にリンク先である論文提供サイトでの会員登録や料金が発生する場合があります。詳しくはリンク先サイトの利用規約をご確認ください。

* このページに文献情報の掲載をご希望される方は、こちらから「お問い合わせ」ください。

農業、森林・林業、水産業

農業 | 森林・林業 | 水産業

【農業】

水稲に関する文献

現在の状況の概要情報

項目	論文等の名称	執筆者名	発表年	掲載誌	対象地域	論文等のリンク先
水稲	気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート『日本の気候変動とその影響』（2012年度版）	文部科学省・気象庁・環境省	2013	-	全国	環境省HP
水稲	近年の日本における稲作気象の変化とその水稲収量・外観品質への影響	河津俊作、本間普貴、堀江武、白岩立彦	2007	日本作物学会	全国	【DOI】 J-STAGE
水稲	平成25年地球温暖化影響調査レポート	農林水産省	2013	-	全国	農林水産省HP
水稲	Modeling the multiple effects of temperature and radiation on rice quality.	Okada M, Iizumi T, Hayashi Y, Yokozawa M.	2011	IOP science	全国	【DOI】 IOP science
水稲	Spikelet sterility of rice observed in the record hot summer of 2007 and the factors associated with its variation.	Hasegawa T, Ishimaru T, Kondo M, Kuwagata T, Yoshimoto Y, Fukuoka M.	2011	農業気象 67(4)	全国	【DOI】 J-STAGE
水稲	平成22年度高温適応技術レポート	農林水産省	2011	-	全国	農林水産省HP

将来予測される影響の概要情報

水稲	気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート『日本の気候変動とその影響』（2012年度版）	文部科学省・気象庁・環境省	2013	-	全国	環境省HP
----	---	---------------	------	---	----	-------

中央環境審議会「日本における気候変動による影響の評価に関する報告と今後の課題について（意見具申）」（2015年3月）に活用された文献をはじめ、気候変動の影響評価に関する最新の文献を分野ごとに紹介



CLIMATE CHANGE ADAPTATION PLATFORM ニュース&イベント情報

気候変動の適応に関する様々な
ニュースやイベントを紹介

NEWS & EVENT More...

<p>NEW! 7つの政令指定都市の 適応計画情報が 新たに加わりました。</p>  <p>NEW 全国・都道府県情報</p>	<p>気候講演会 12月10日 5&5まいし+い講座RCA&A版</p> 	<p>気候講演会 11/9 19時～19時30分 気候変動による水害の恐怖</p> 	
<p>2016.10.19 ★ 地方公共団体の「適応計画」ページに仙台市、川崎市、静岡市、神戸市、福岡市、北九州市、熊本市の情報が加わりました。</p>	<p>2016.10.18 ★ 「全国・都道府県情報」の「自然生態系」と「健康」の一部に地図画像を追加しました。</p>	<p>2016.10.18 ★ 気象庁 気候講演会「地球温暖化・異常気象とその対策」(12月10日(土)沖縄)開催</p>	<p>2016.10.05 ★ 気象庁 気候講演会「地球温暖化による水害の恐怖」(11月9日(水)三重)開催</p>
<p>秋田気候講演会 地球温暖化と秋田県の気候・暮らし</p>  <p>2016.10.05 ★ 気象庁 気候講演会「地球温暖化と秋田県の気候・暮らし」(11月1日(火)秋田)開催</p>	<p>どげんなっとう!? 地球温暖化 ~どう変わる? 私たちのくらし~</p>  <p>2016.9.30 ★ 気象庁 気候講演会「どげんなっとう!?地球温暖化~どう変わる? 私たちのくらし~」(10月22日(土)福岡)開催</p>	<p>気候変動適応情報プラットフォーム 開設記念シンポジウムの動画をUPしました!</p> 	<p>環境画 NO.61 『「適応」で拓く新時代! ~気候変動による影響に備える~』</p> 

アジア太平洋適応情報プラットフォーム

(COP22で日本の気候変動対策支援イニシアティブとして発信)

- アジア太平洋適応情報プラットフォームは、先進国・途上国の大学・研究機関が有する気候リスク情報をオンラインで共有する基盤となるものであり、日本の国立環境研究所を事務局とし、2020年までに構築する。
- このプラットフォームは、2016年8月に運用を開始した日本の気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT）をベースとして構築する。
- 最新の科学的な気候リスク情報を提供することで、途上国の適応策の支援を行う。
- 途上国の行政・研究機関と協働し、このプラットフォームの下で、以下の活動を進める。
 - ① 二国間の重点的な調査研究を通して、地域における気候変動影響予測のデータセットを開発する。
 - ② 適応策の立案に関与する行政官やステークホルダーの支援ツールを開発する。
 - ③ 気候変動影響評価及び適応策立案の人材育成を行う。

